

CL クラッチ

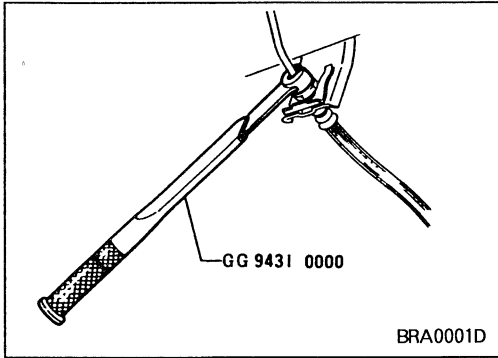
〔点検・脱着〕

目次

| | |
|---------------------|---------|
| 作業上の注意及び準備品 | CL E- 2 |
| 注意 | CL E- 2 |
| 特殊工具 | CL E- 2 |
| 油脂及びその他 | CL E- 2 |
| クラッチコントロール | CL E- 3 |
| ペダル | CL E- 3 |
| マスターシリンダー | CL E- 5 |
| オペレーティングシリンダー | CL E- 7 |
| ダンパー | CL E- 8 |
| 配管 | CL E- 9 |
| エア抜き | CL E-10 |

CL

作業上の注意及び準備品



注意

- クラッチフルードは、ニッサンブレーキフルードNo. 2500を使用する。
- 抜き取ったクラッチフルードは、再使用しない。
- ブレーキフルードを塗装面に付着させないこと。万一付着した場合は、素早く拭き取り水洗いをする。
- マスターシリンダー及びオペレーティングシリンダーの構成部品を洗浄するときは、きれいなブレーキフルードを使用する。
- ガソリンあるいは揮発油のような鉱物油類での洗浄は、ゴム類の特性を変化させ作動不良の原因となるため絶対に使用しない。
- クラッチチューブの取り付けは、特殊工具を使用する。

特殊工具

| 名 称 | 用 途 | 備 考 |
|-----------------------------|------------|-----|
| フレアナットトルクレンチ GG9431 0000 | クラッチ配管取り付け | 既 設 |

油脂及びその他

| 名 称 | 用 途 |
|---------------------------|---------------|
| ニッサンブレーキフルードNo. 2500 | フルード補充及びエア抜き時 |
| ニッサンクラッチグリース(KRI06 00010) | 各部への塗布 |
| ニッサンラバーグリース(KRE00 00010) | 各部への塗布 |
| ニッサンラバーグリース(KRE12 00030) | 各部への塗布 |
| ニッサンMPスペシャルグリースNo. 2 | クラッチペダル脱着時 |
| ニッサンシリコングリース(KA412 89901) | 各部への塗布 |

ペダル (続き)

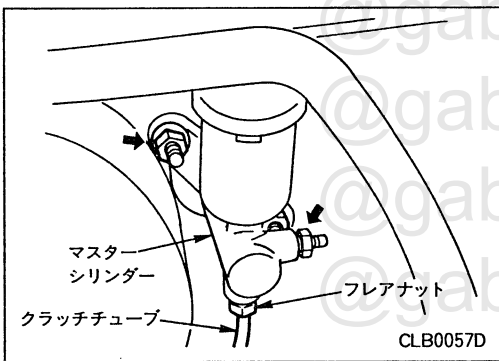
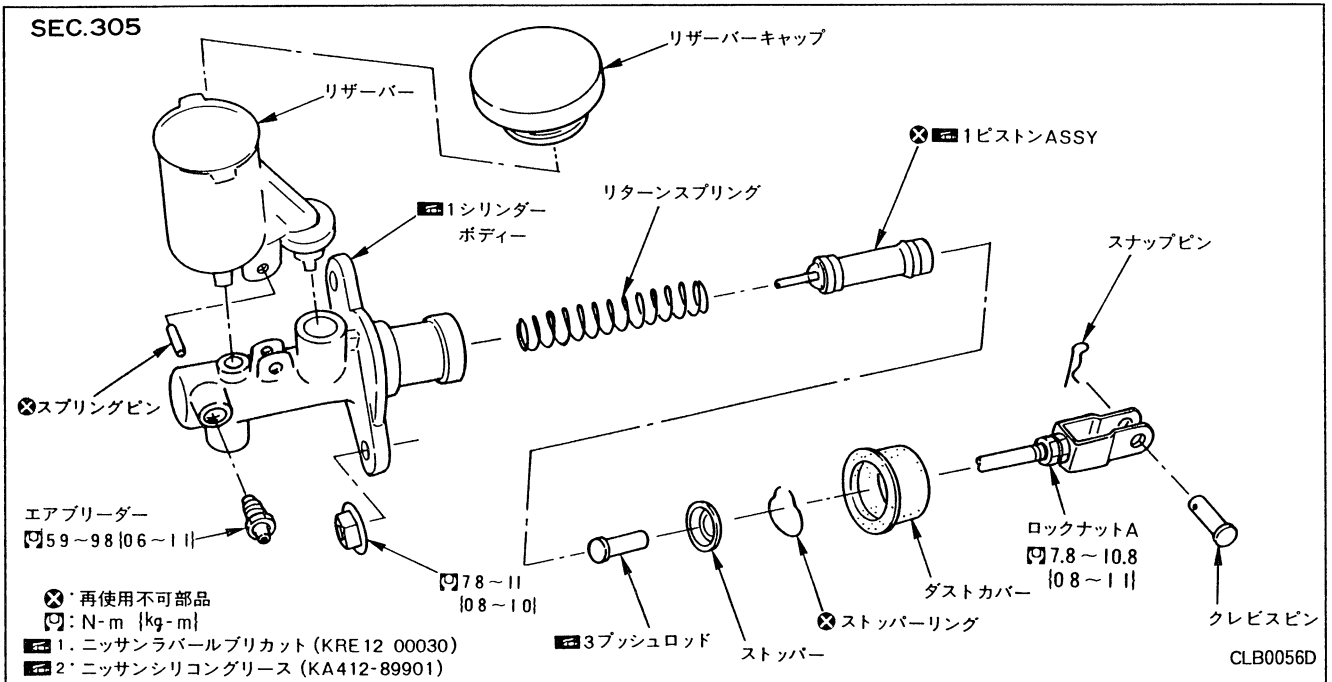
組み立て

1. ブッシュにニッサンMPスペシャルグリースNo.2を塗布し、ブッシュとストッパーラバーをクラッチペダルに取り付ける。
2. アシストスプリングにニッサンMPスペシャルグリースNo.2を塗布し、ペダルブラケットに取り付ける。
3. ペダルブラケットにクラッチペダルを取り付け、フォルクラムピンを挿入し、ロックナットを規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m [kg-m]) : 16 ~ 22 {1.6 ~ 2.2}
4. クラッチスイッチ及びロックナットを取り付ける。

注意 : クラッチスイッチは、クラッチペダルASSYを車両に取り付けて高さ調整後、規定トルクで締め付ける。 (「MA編主な点検調整要領クラッチ」の項参照)

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

マスターシリンダー



取り外し

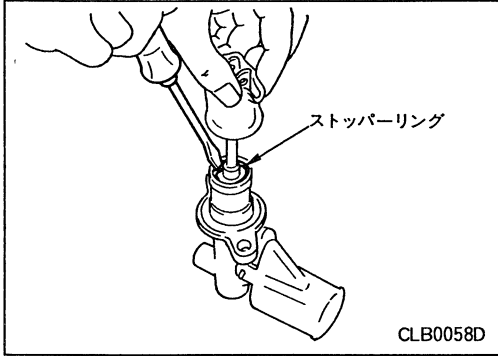
1. リザーバータンク内のブレーキフルードを抜き取る。
2. クラッチチューブをフレアナットレンチを使用して取り外す。
3. クラッチペダルとプッシュロッドの接続部のスナップピンを取り外し、クレビスピンを取り外す。
4. マスターシリンダーASSYの取付ナットを取り外し、マスターシリンダーASSYを車両より取り外す。

取り付け

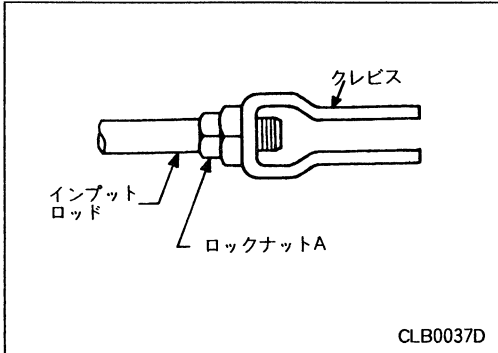
1. マスターシリンダーASSYにクラッチチューブを取り付け、フレアナットを仮締めする。
2. マスターシリンダーASSYを車両に取り付け、取付ナットを規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m {kg-m}) : 7.8 ~ 11 {0.8 ~ 1.1}
3. クラッチチューブのフレアナットをフレアナットトルクレンチ (特殊工具 : GG9431 0000) を使用して、規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m {kg-m}) : 15 ~ 18 {1.5 ~ 1.8}
4. クレビスピンを取り付け後、スナップピンを取り付けクラッチペダルとプッシュロッドを接続する。
5. 作業終了後クラッチ配管のエア抜きを行う。 (「エア抜き」の項参照)

マスターシリンダー (続き)

分解



1. ストッパーリングをドライバーを用いて取り外し、ピストンASSYが外に飛び出さないようにゆっくりとプッシュロッドをシリンダーボディより取り外す。
2. シリンダーボディより、ピストンASSY及びリターンスプリングを取り外す。
3. プッシュロッドのロックナットAを緩め、クレビスとロックナットAを取り外す。
4. ダストカバー及びストッパーを取り外す。



点検

以下の項目を点検し、異常があれば交換する。

- シリンダー内壁の損傷、摩耗、さび及びピンホール
- リザーバタンクの損傷及び変形
- スプリングのへたり
- ダストカバーのき裂及び変形

組み立て

1. ピストンASSYのしゅう動部及びシリンダーボディにニッサンラバープリカント (KRE12 00030) を塗布してからピストンASSYとリターンスプリングをシリンダーボディに挿入する。

注意：ピストンASSYは、再使用不可部品のため取付時新品と交換する。

2. プッシュロッドをシリンダーボディに挿入し、ストッパー及びストッパーリングを取り付ける。

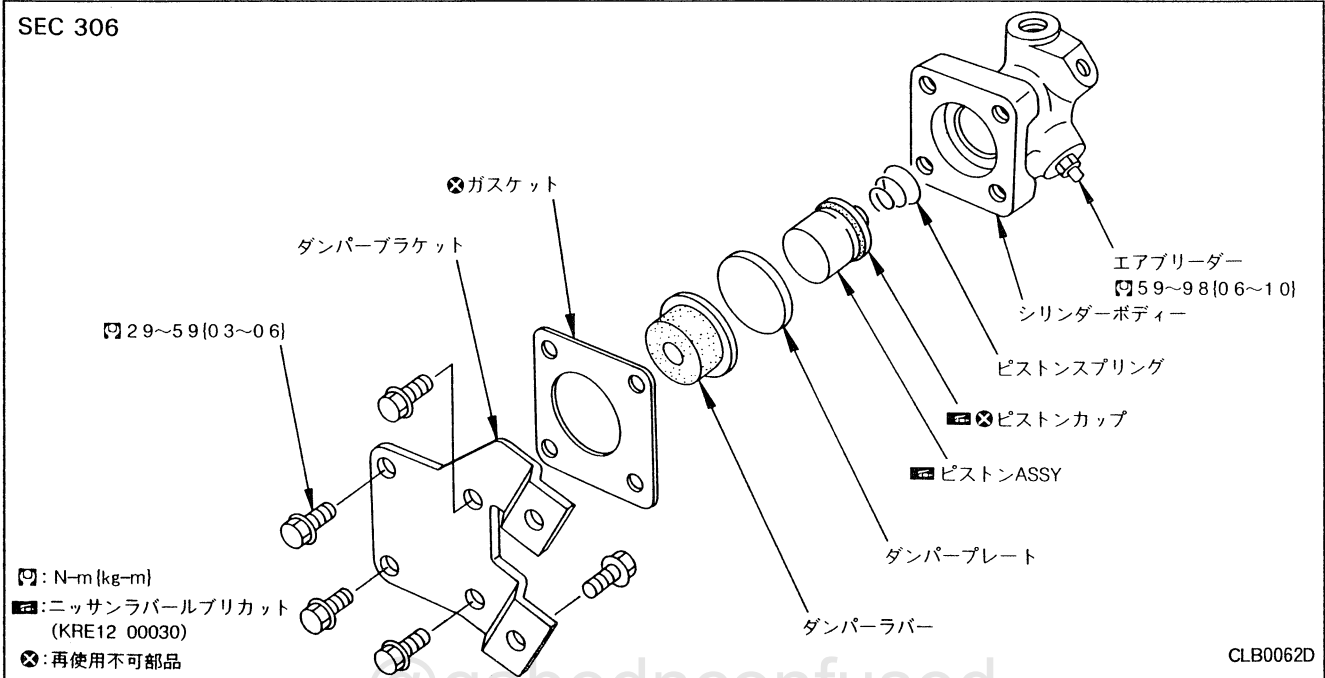
注意：ストッパーリングは再使用不可。

3. ダストカバーを取り付ける。
4. クレビスをプッシュロッドに取り付け、ロックナットAを規定トルクで締め付ける。

締め付トルク (N-m {kg-m}) : 7.8 ~ 10.8 {0.8 ~ 1.1}

ダンパー

(RB20Eエンジン搭載車のみ)



取り外し

1. ブレーキフルードを抜き取る。
2. クラッチチューブをフレアナットレンチを使用して取り外す。
3. 取付ボルトを取り外し、ダンパーASSYを車両より取り外す。

取り付け

1. クラッチチューブを取り付け、フレアナットを手で回る所まで仮締めする。
2. ダンパーASSYを車両に取り付ける。
3. フレアナットをフレアナットトルクレンチ (特殊工具 : GG9431 0000) を使用して、規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m {kg-m}) : 15 ~ 18 {1.5 ~ 1.8}
4. 作業終了後クラッチ配管のエア抜きを行う。 (「エア抜き」の項参照)

分解

1. ダンパーASSYの取付ボルトを取り外す。
2. シリンダーボディより、ガスケット、ダンパーラバー、ピストンASSY及びピストンスプリングを取り外す。

点検

- シリンダー内壁の損傷、摩耗、さび、ピンホール及びダンパーラバーの変形を点検し、異常がある場合は、交換する。

ダンパー (続き)
組み立て

1. シリンダーボディとダンパーブラケットのガスケット当たり面をスクレーパー等で清掃する。

注意：取付面に傷を付けないこと。

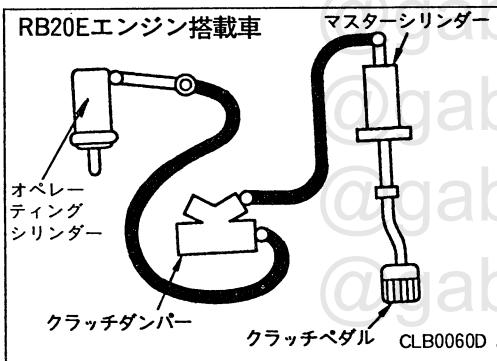
2. ピストンカップ及びピストンASSYのしゅう動面にニッサンラバーブリカント (KRE12 00030) を塗布し、ピストンスプリング、ピストンカップ、ピストンASSY、ダンパープレート及びダンパーラバーをシリンダーボディに取り付ける。

注意：ピストン及びピストンカップは、再使用不可。

3. ガスケット及びダンパーブラケットを取り付け、取付ボルトを規定トルクで締め付ける。

締め付トルク (N-m [kg-m]) : 2.9 ~ 5.9 {0.3 ~ 0.6}

注意：ガスケットは再使用不可。



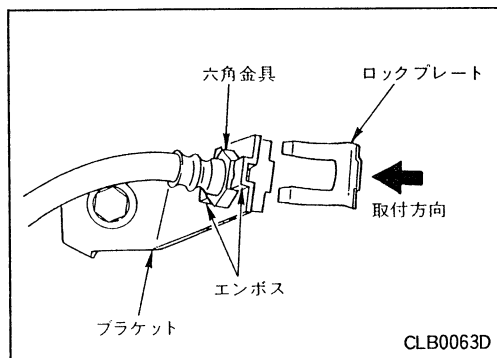
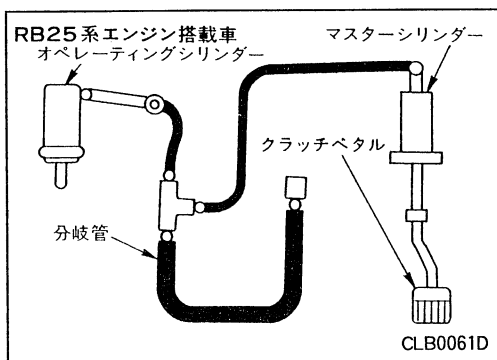
配管

取り外し

1. ブレーキフルードを抜き取る。

注意：クラッチフルードは、ボディ等の塗装面に付着させないこと。万一付着した場合は、素早く拭き取り水洗いすること。

2. フレアナットをフレアナットレンチを使用して取り外す。
3. クラッチホース及びクラッチチューブを取り外す。



取り付け

1. クラッチホースをオペレーティングシリンダ側に下記規定トルクで締め付ける。

締め付トルク (N-m [kg-m]) : 17 ~ 20 {1.7 ~ 2.0}

2. 車体側ブラケットの位置決めエンボスにホース六角金具を合わせロックプレートを打ち込み固定する。この時ホースにねじれ及び折れが生じない様最適の位置を選んで取り付ける。

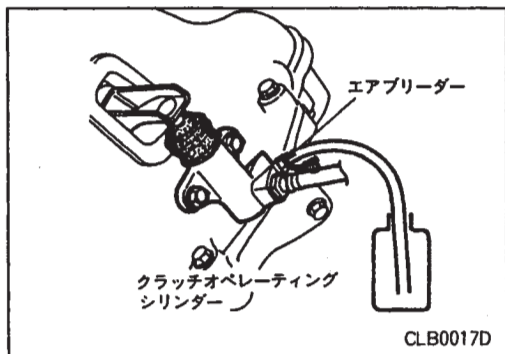
配管 (続き)

3. フレアナットを締め付けるときは、フレアナットトルクレンチ (特殊工具) を使用し、下記基準値で締め付ける。

フレアナット締め付トルク (N-m [kg-m]) : 15 ~ 18 [1.5 ~ 1.8]

注意 : フレアナット及びクラッチチューブに傷付けないこと。

4. 作業終了後クラッチ配管のエア抜きを行う。〔「エア抜き」の項参照〕



エア抜き

注意 : エア抜きは、マスターシリンダー、クラッチダンパー、オペレーティングシリンダーの順に行うこと。

1. マスターシリンダーリザーバータンクに新品ブレーキフルードを満たす。
2. エアブリーダーに透明なビニールホースを接続する。
3. クラッチペダルをゆっくりフルストロークで踏み込む、戻すを2~3秒間隔をとり、数回繰り返す。
4. クラッチペダルを踏んだまま、エアブリーダーを開ける。
5. エアブリーダーを閉じる。
6. クラッチペダルを戻し、その状態で5秒程度待つ。
7. ブレーキフルードに気泡がなくなるまで3~6の作業を繰り返す。

エアブリーダー締め付トルク
(N-m [kg-m]) : 5.9 ~ 9.8 [0.6 ~ 1.0]